「入院患者の栄養治療の有効性に関する検討」に関する研究のお知らせ
研究に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: 2022 年 8 月 22 日 ～2028 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 入院患者の栄養治療の有効性に関する検討

〔研究目的〕 これまで多くの調査により、入院患者における低栄養状態の割合は 30-50%と高率であることが報告されています。患者の栄養状態は治療効果に影響を及ぼすことが指摘されており、栄養的介入は有効であるとされますが、どのような患者にどのような栄養治療が有効であるかの詳細は未だ明らかではありません。そこで、どのような患者に対して、どのような栄養治療が有効であるかを検証し、病態に合致した、最適な栄養治療方法を明らかにする。

〔研究意義〕

病態に即した栄養治療は何かを知ることができれば、病態ごとの最適な栄養治療を効率的に実施することができ、ひいては治療効果改善につなげることができます。

〔対象・研究方法〕

2011 年 4 月から 2026 年 3 月末までに帝京大学医学部附属病に入院していた、外科系の主要な病態すなわち上部消化管手術、下部消化管手術、肝胆膵手術、その他の手術、そして内科系で循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、消化器疾患の患者様また 2011 年 4 月から 2026 年 3 月末まで当院外来受診した患者様。

研究方法:対象患者を主要な病態別に分類し、どのような栄養治療が行われたかを調査し、さらに入院時栄養評価と退院時栄養評価を比較し、栄養状態が改善したかどうかを検討する。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

資料は加工し、データ管理責任者の所属する施錠された部屋で保管庫に施錠し保管する。研究期間終了後は、学会発表・論文発表後 10 年間、帝京大学臨床研究センターで保管後、情報は破棄する。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 河口 麻衣子 職名 係長
研究分担者:氏名 芦川 美希 職名 課長
所属: 帝京大学医学部附属病院 栄養部
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03(3964)1211(代表)